

実践的な道徳教育 教諭が在り方模索

福井で研究会

倫理・道徳教育を推進する公益財団法人モラロジー研究所(千葉県)の第55回教育者研究会は31日、福井市の福井放送であった。嶺北の中学校教諭ら約130人が、実践的な道徳教育の在り方を探った。

「他教科との関連で命の大切さを学ぶ」をテーマにした1年生の授業について福井市岡保小の土田ひとみ教諭が発

表。道徳、生活科、学級活動を連携させ、動物病院の医師にモルモットの育て方を習ったり、赤ちゃんの人形を使って抱き方を学んだりすることで、命を身近に感じることができたと話した。

6年生の授業では、五輪メダリストの生き方、考え方、発言などを通して「頑張る」

ことの意味を学んだという事例発表があった。道徳の授業に関する有識者の講演もあった。(堀英彦)



道徳教育の在り方を探った教育者研究会は31日、福井市の福井放送